教育の質保証チェックシート
（2019年度）

〇〇学部・〇〇研究科

教育の質保証チェックシートの記入方法

1　目的

「教育の質保証チェックシート」は、2022年度に受審予定の認証評価への準備を行うとともに、教育の質を更に高めていくために、大学改革支援・学位授与機構及び大学基準協会の認証評価基準の中で特に重要だと思われる主な項目について、各部局の状況を確認するものです。本チェックシートで確認できた各部局の優れている取組については、全学的に共有を行い、大学全体の教育の質の向上に役立てていきます。

2　構成

①　**確認項目**　…　認証評価基準の中で、特に重要だと思われる点について記載をしています。認証評価において、どのような内容が求められるかについて確認を行ってください。現時点で認証評価基準を満たしていないと判断される場合は、認証評価受審までに基準を満たすよう準備してください。

- **「１　評価項目」**
  認証評価基準の評価項目として設定されている「3つのポリシー」、「学生の受け入れ」、「教育課程」等において求められる基準・水準等について記載をしています。
- **「２　主な説明項目」**
  「1　評価項目」に記載されている基準・水準等について、当該基準等を満たしていることを証明するために説明が求められる内容を記載しています。
- **「３　説明のための取組事例」**
  「2　主な説明項目」を説明するための根拠となるような取組事例を記載しています。

②　**チェック項目**　…　各部局の状況を確認し、必要事項を記入してください。

- 「□はい」又は「□いいえ」で回答できる項目については、いずれかにチェック☑を入れてください（「いいえ」があっても問題ありませんので、現時点の部局の状況を記載してください）。
- 記述が求められる項目については、該当する事例がある場合のみ、記載をしてください（無理にすべての項目に記載をする必要はありません）。各部局の優れた取組は全学に共有させていただきます。

＜教育の質チェックシートの記入例＞

（1）教育課程

① 確認項目

1　評価項目
教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。
2　主な説明項目
・　教育課程の編成・実施方針（CP）と教育課程に整合性があるか。
・　専門分野の学問の体系を考慮した教育課程編成になっているか。
・　学習の順次性に配慮した各授業科目の年次・学期配当となっているか。
3　説明のための取組事例
・　教育課程の編成・実施方針（CP）に基づいた、体系性のある教育課程を編成するために組織内で十分な議論を行っている。
・　カリキュラム・マップをを整備している。
・　カリキュラムツリー、履修モデル、科目ナンバリング等を整備している。

認証評価においてどのような内容が求められるかについて確認を行ってください。

② チェック項目

1	（学部）カリキュラム・マップやシラバス等で、各授業科目と学修成果（修了時に獲得することが期待される能力）との関係を確認できるか。	☑ はい　□ いいえ
2	（大学院）カリキュラム・マップやシラバス等で、各授業科目と学修成果（修了時に獲得することが期待される能力）との関係を確認できるか。	☑ はい　□ いいえ

認証評価基準を踏まえ、毎年度確認すべき内容を記載しています。各部局の状況を踏まえ、「はい」又は「いいえ」にチェックを入れてください。

5	教育課程の編成・実施方針（CP）と教育課程の整合性をどのように担保しているか、記載してください。
昨年度にご報告を頂いた事項がある場合は、その内容が記載されておりますので、変更等がございましたら記入してください。	

該当する事例がある場合のみ記載してください。記載にあたっては、学部・大学院のどちらの取組かが分かるように記載してください。

1　3つのポリシー

2017年4月1日の学校教育法施行規則の改正により、すべての大学等において、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー（DP））」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー（CP））」及び「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー（AP））」の3つのポリシーを一貫性・整合性のあるものとして策定し、公表するものとされている。

（1）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー（DP））

＜卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー（DP））とは＞
各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。

① 確認項目

1　評価項目
授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与方針(DP)を定め、公表していること。
2　主な説明項目
・　卒業認定・学位授与方針(DP)は原則として、授与する学位ごとに設定されているか。
・　修得すべき知識、技能、態度等の学修成果が明確に示され、授与する学位にふさわしい内容となっているか。
・　公表において、媒体や表現の工夫等により、情報の得やすさや理解しやすさに配慮されているか。
3　説明のための取組事例
・　卒業認定・学位授与方針(DP)は「「卒業認定・学位授与の方針」（DP）、「教育課程編成・実施の方針」（CP）及び「入学者受入れの方針」（AP）の策定及び運用に関するガイドライン（中央教育審議会大学分科会大学教育部会）」に基づいて作成している。
・　卒業認定・学位授与方針(DP)をウェブサイト、シラバス及びガイダンス資料等で公表している。

② チェック項目

1	2017年度以降において卒業認定・学位授与方針(DP)の見直しをした場合は、その内容と変更理由を記載してください。
2	卒業認定・学位授与方針(DP)をわかりやすく解説するために、原文以外に提供している資料がありましたら、記載してください。
3	現行の卒業認定・学位授与方針(DP)の記載について、見直すべき内容がありましたら、概要を記載してください。

（2）教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー（CP））

＜教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー（CP））とは＞
卒業認定・学位授与方針（DP）の達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

① 確認項目

1　評価項目
授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針（CP）を定め、公表していること。
2　主な説明項目
・　教育課程の編成・実施方針（CP）は、原則として、授与する学位ごとに設定されているか。
・　教育課程の体系、教育内容、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態など、教育についての基本的な考え方が明確に示されているか。
・　卒業認定・学位授与方針（DP）に整合しているか。
・　公表において、媒体や表現の工夫等により、情報の得やすさや理解しやすさに配慮されているか。
3　説明のための取組事例
・　教育課程の編成・実施方針（CP）は、「「卒業認定・学位授与の方針」（DP）、「教育課程編成・実施の方針」（CP）及び「入学者受入れの方針」（AP）の策定及び運用に関するガイドライン（中央教育審議会大学分科会大学教育部会）」に基づいて作成している。
・　教育課程の編成・実施方針（CP）をウェブサイト、シラバス及びガイダンス資料等で公表している。

② チェック項目

1	2017年度以降において教育課程の編成・実施方針（CP）の見直しをした場合は、その内容と変更理由を記載してください。
2	教育課程の編成・実施方針（CP）をわかりやすく解説するために、原文以外に提供している資料がありましたら、記載してください。
3	現行の教育課程の編成・実施方針（CP）の記載について、見直すべき内容がありましたら、概要を記載してください。

（3）入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー（AP））

＜入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー（AP））＞
各大学、学部・学科等の教育理念、卒業認定・学位授与方針（DP）、教育課程編成・実施の方針（CP）、に基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果（「学力の３要素」※についてどのような成果を求めるか）を示すもの。
※（１）知識・技能、（２）思考力・判断力・表現力等の能力、（３）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

① 確認項目

1　評価項目
入学者受入れの方針(AP)を定め、公表していること。
2　主な説明項目
・　入学者受入れの方針(AP)は少なくとも学位課程ごと(学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程)に設定されているか。
・　入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法が明確に示されているか。
・　卒業認定・学位授与方針(DP)及び教育課程の編成・実施方針(CP)に整合しているか。
・　公表において、媒体や表現の工夫等により、情報の得やすさや理解しやすさに配慮されているか。
3　説明のための取組事例
・　入学者受入れの方針(AP)は、「「卒業認定・学位授与の方針」(DP)、「教育課程編成・実施の方針」(CP)及び「入学者受入れの方針」(AP)の策定及び運用に関するガイドライン(中央教育審議会大学分科会大学教育部会)」に基づいて作成している。
・　入学者受入れの方針(AP)をウェブサイト、シラバス及びガイダンス資料等で公表している。

② チェック項目

1	2017年度以降において入学者受入れの方針(AP)の見直しをした場合は、その内容と変更理由を記載してください。
2	入学者受入れの方針(AP)をわかりやすく解説するために、原文以外に提供している資料がありましたら、記載してください。
3	現行の入学者受入れの方針(AP)の記載について、見直すべき内容がありましたら、概要を記載してください。

2　学生の受入

（1）入学者選抜　※前年度に実施した入学者選抜（学部の多様な入試・大学院入試）について確認をしてください。

① 確認項目

1　評価項目
入学者受入れの方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していること。
2　主な説明項目
・　入学者選抜は、入学者受入れの方針（AP）に沿っているか。
・　入学者選抜の運営体制が整備されているか。
・　運営体制のもと、入学者選抜は公正に実施されているか。
・　入学者選抜の結果、方針に沿った学生を受け入れているか。
3　説明のための取組事例
・　入試委員会等の実施組織がある。
・　入学者選抜を適切に実施するための要項やマニュアルが整備されている。
・　出題ミス防止のため、複数の教員で問題を確認し、出題者以外の教員が問題を解いている。
・　入学者選抜を公平に実施するために、面接及び論文の採点等は複数の教員で実施している。
・　試験の採点者に受験生氏名は見せないようにし、採点の集計は複数の教員で実施している。

② チェック項目

1	（学部）多様な入試において入学者選抜を適切に実施するための要項やマニュアル等が整備されているか。	☐ はい　☐ いいえ
2	（大学院）大学院入試において、入学者選抜を適切に実施するための要項やマニュアル等が整備されているか。	☐ はい　☐ いいえ
3	入学者選抜を公正に行うために実施している取組があれば、記載してください。	
4	出題ミス防止のために実施している取組があれば、記載してください。	
5	入学者選抜の体制・実施方法等について、見直すべき内容がありましたら、概要を記載してください。	

(2)定員充足率の検証 ※前年度入学者選抜(大学院入試)について確認をしてください。

① 確認項目

1 評価項目
実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと。
2 主な説明項目
・ 学部又は研究科の単位において、実入学者数が「入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組がなされているか。 【基準】 1.20倍以上:大幅に超える　0.70倍未満:大幅に下回る
・ 定員充足率を適正化するための取組を実施しているか。
3 説明のための取組事例
・ 独自の経済支援を実施している。
・ キャリアセミナー等のキャリア支援を実施している。
・ 社会人や留学生獲得のための広報活動を実施している。
・ 社会人や留学生が学びやすい環境を整備している。

② チェック項目

1	(博士前期課程)実入学者が入学定員の0.70倍以上1.20倍未満になっているか。	□ はい　□ いいえ
2	(博士後期課程)実入学者が入学定員の0.70倍以上1.20倍未満になっているか。	□ はい　□ いいえ
3	定員充足率を適正化するために実施している取組がありましたら、記載してください。	
4	定員充足率を今後の更なる適正化のために検討している取組がありましたら、記載してください。	

3　教育課程・学修成果

（1）教育課程

① 確認項目

1　評価項目
教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。
2　主な説明項目
・　教育課程の編成・実施方針（CP）と教育課程に整合性があるか。
・　学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時の学修成果と、各授業科目との関係が明確になっているか。
・　専門分野の学問の体系を考慮した教育課程編成になっているか。
・　学習の順次性に配慮した各授業科目の年次・学期配当となっているか。
3　説明のための取組事例
・　教育課程の編成・実施方針（CP）に基づいた、体系性のある教育課程を編成するために組織内で十分な議論を行っている。
・　カリキュラム・マップを整備している。
・　カリキュラムツリー、履修モデル、科目ナンバリング等を整備している。

② チェック項目

1	（学部）カリキュラム・マップやシラバス等で、各授業科目と学修成果（修了時に獲得することが期待される能力）との関係を確認できるか。	☐ はい　☐ いいえ
2	（大学院）カリキュラム・マップやシラバス等で、各授業科目と学修成果（修了時に獲得することが期待される能力）との関係を確認できるか。	☐ はい　☐ いいえ
3	（学部）カリキュラム・ツリー、履修モデル、科目ナンバリング等で専門分野の体系性・順次制を確認できるか。	☐ はい　☐ いいえ
4	（大学院）カリキュラム・ツリー、履修モデル、科目ナンバリング等で専門分野の体系性・順次制を確認できるか。	☐ はい　☐ いいえ
5	教育課程の編成・実施方針（CP）と教育課程の整合性をどのように担保しているか、記載してください。	
6	カリキュラムの見直し等、教育課程を充実させるために実施している取組や現時点では実施に至っていないが、今後、必要だと考えられる取組がある場合は、その概要を記載してください。	

（2）授業の内容・方法

① 確認項目

1　評価項目
適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること。
2　主な説明項目
・　学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものとして、全科目のシラバスに必要な項目が記入されているか。
・　授業形態（講義、演習、実験、実習等の組合せ・バランス）、学習指導法（少人数授業、対話・討論型授業、多様なメディアの活用、能力別授業の実施等）の工夫を積極的に行っているか。
・　単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習時間、学習内容の確保）を図る取組を行っているか。 【大学設置基準における1単位あたりの学習時間は45時間（授業時間及び授業外学習時間を含む）】
3　説明のための取組事例
・　シラバスに必要な項目が記載されているかを組織的にチェックしている。
・　適切な授業設計を促進するための取組を組織的に行っている。
・　学生の能動的な学修の充実に向けて、少人数グループワーク、集団討論、反転授業等の学修方法が導入されるように組織的に取り組んでいる。
・　履修科目の登録上限の設定をしている（CAP制を導入している）。
・　授業内容・方法を改善するために、学生による授業評価等の内容を組織的に確認し、活用している。

② チェック項目

1	適切な授業設計の促進や学習指導法をより改善するために実施している取組がありましたら、記載してください。
2	単位の実質化、学習時間の確保のために実施している取組がありましたら、記載してください。

（3）ファカルティ・ディベロップメント（FD）

① 確認項目

1　評価項目
授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント(FD)を組織的に実施していること。
2　主な説明項目
・　教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげるためのFDの取組が組織的に実施されているか。
3　説明のための取組事例
・　教員相互による授業参観・授業評価を実施している。
・　授業内容・方法の改善のためのワークショップや授業検討会を実施している。
・　教育能力の向上や授業内容・方法の改善に必要な知識・技能を獲得するための研修会・講演会等を実施している。
・　授業コンサルテーション（高等教育専門家によるコンサルティング）を実施している。

② チェック項目

1	部局独自で実施しているFD活動の概要（実施内容・方法、参加者数等）を記載してください。
2	全学及び部局独自のFD活動の参加率を上げるために実施している取組がありましたら、記載してください。

（4）履修指導体制・学習相談体制

① 確認項目

1　評価項目
学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること。 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること。
2　主な説明項目
・ ガイダンス、担任制、学習計画の指導、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導、助言が行われているか。
・ オフィスアワーの設定、ネットワークを活用した学習相談等、各大学固有の事情等に応じて、学習相談、助言等の学習支援が行われているか。
3　説明のための取組事例
・ 履修ガイダンスを実施している。
・ 教員による担任制・アドバイザー制を整備している。
・ ティーチング・アシスタント（TA）等の教育支援スタッフによる相談制度を整備している。
・ 能力別クラス分けを実施している。
・ リメディアル教育を実施している。
・ オフィスアワーを設定している。

② チェック項目

1	すべての専門科目において、オフィスアワー等の学習相談体制が整っているか。	□ はい　□ いいえ
2	基礎学力不足の学生に対する指導、助言を行うために実施している取組がありましたら、記載してください。	
3	履修指導体制・学習指導体制の更なる充実のために必要な取組がありましたら、その概要を記載してください。	

（5）成績評価

① 確認項目

1　評価項目
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること。
2　主な説明項目
・　厳正かつ適切な成績評価及び単位認定の実施しているか。
・　成績評価の分布の点検を組織的に実施しているか。
・　（大学院）学位授与における実施手続及び体制が明確になっているか。
3　説明のための取組事例
・　各教員による適切な成績評価を促すために、組織的な取組を実施している。
・　教授会や委員会等において、成績評価の分布の点検を組織的に実施している。
・　GPAを活用し成績評価を実施している。（卒業判定基準、退学勧告基準等）

② チェック項目

1	（学部）成績評価基準とは別に、成績評価分布のガイドライン（目標値等）を作成している。	□ はい　□ いいえ
2	（学部）成績評価の分布の点検を組織的に実施している。	□ はい　□ いいえ
3	（大学院）博士学位論文の審査基準および博士学位授与プロセスが明示されている。	□ はい　□ いいえ
4	成績評価の客観性を担保するために実施している取組がありましたら、記載してください。	

（6）学修成果

① 確認項目

1　評価項目
卒業認定・学位授与方針(DP)に明示した学生の学修成果を適切に把握及び評価していること。
2　主な説明項目
・　学生が獲得した能力を測定する方法を導入または工夫し、その把握・評価を行っているか（直接評価）。
・　学生アンケートなど間接的な方法で学修成果を把握・評価しているか（間接評価）。
3　説明のための取組事例
・　授業成績やGPAなどを活用して、学部・研究科として組織的に学修成果の把握・評価に取り組んでいる。
・　汎用的能力を測定するために、外部の標準テストの活用や独自のアセスメントテストの実施などの取組を行っている。
・　学生アンケートに基づき、学修行動や学修成果の把握・評価を行っている。
・　卒業生アンケートを行い、学修成果の把握・評価に努めている。
・　卒業生が勤務する雇用者に対してアンケートまたはインタビューを行っている。

② チェック項目

1	卒業時アンケートの他に、学修成果把握のために実施している取組がありましたら、記載してください。
2	学修成果の状況を踏まえ、教育や学生支援等の充実に反映させた取組がありましたら、その概要を記載してください。

「教育の質保証チェックシート」の確認にあたってのＱ＆Ａ

No.		Q	A
確認項目	1	「教育の質保証チェックシート」（以下、「チェックシート」という。）はすべての評価項目を確認するのか。	「チェックシート」は大学機関別認証評価（次回は2022年度に受審予定）において、大学に求められる項目のうち、本学として、毎年度特に点検・確認をして欲しい項目として、主に3つのポリシーおよび教育に関する項目を抽出しています。 各部局において、毎年度、すべての項目について「組織的に実施できているか」という観点で御確認ください。
	2	「2主な説明項目」に記載されている、すべての項目を満たしている必要はあるか。	「2主な説明項目」に記載されている項目は、「1評価項目」に適合していることを説明するために、各認証評価機関がすべての大学を対象に有効と考えている項目から抽出しています。 そのため、記載されているすべての項目を満たす必要はありませんが、各部局の特性に応じて、有効と思われる項目を毎年確認をしてください。
	3	「3説明のための取組事例」に記載されている、すべての事例を実施する必要はあるか。	「3説明のための取組事例」に記載されている項目は、文部科学省「3つのポリシーの策定と運用に係るガイドライン」、「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」（答申）及び各認証評価機関における自己評価作成のための手引き等から抽出した項目と、本学独自の事例を記載しています。 そのため、記載されているすべての事例を実施する必要はありません。各部局の特性に応じて、既に取り組まれている事例、今後取り組むべきと考えられる事例等を毎年度確認してください。
チェック項目	4	「いいえ」の項目にチェック☑がある場合、ペナルティ等はあるのか。	「いいえ」の項目があっても、ペナルティはありません。 次回受審（2022年度）の前年を目処に、「はい」にチェック☑ができるよう、組織的な改善に向けて取組を実施してください。
	5	記入項目が空欄の場合、ペナルティ等はあるのか。	空欄の場合であっても、ペナルティはありません。 「はい・いいえ」では確認することが難しい、程度等に関する事項につきましては、具体的に記載していただくようにお願いしています。 当該年度において、記載すべき取組等がない場合は、空欄のまま提出してください。 よい事例および効果的な取組につきましては、今後の自己点検・評価委員会において、各部局に紹介していくこととされています。
その他	6	学部及び研究科はそれぞれ別に確認をする必要はあるか。	学部及び研究科のそれぞれの組織について確認をしてください。 ※2学生の受入（2）定員充足率の検証は研究科についてのみ確認をしてください。 チェック項目の記述欄に記載いただく際は、文章の前に（学士課程）、（修士課程）及び（博士課程）とお付けください。
	7	学部・研究科独自の取組ではなく、全学と連携した取組を・事例記載してよいか。	差し支えありません。
	8	単年度で実施できる取組ではなく、長期的な取組についてはどのように記載すればよいか。	最終的な達成目標がありましたら記載していただいたうえで、該当年度における取組内容を記載してください。
	9	記述欄の記載方法にルールはあるか。	原則として、1文50文字程度の箇条書きで記載してください。 枠は自由に拡大して差し支えありません。
	10	「チェックシート」の内容は各年度、どのタイミングで確認するのか。	「チェックシート」の記載内容は「重点課題」と一緒に、学長部局長対話において確認をします。
	11	「チェックシート」に記載した内容を修正することはできるのか。	学長部局長対話後に修正することは差し支えありません。